

酸化ストレスとコエンザイムQ10(CoQ10)について研究しています

3年生きるネズミも100%酸素下では3日しか生きられません。人の健康と寿命にも酸素が大きな影響を与えます。そこで研究テーマは酸化ストレスと代表的な抗酸化物質であるCoQ10で、**健康長寿を目指しています。**

研究テーマの代表例は、繊維筋痛症における酸化ストレス、CoQ10結合タンパク質サポシンBの生理的役割、白金ナノコロイドの抗酸化作用などです。



サポシンB

研究室メンバーと特徴

教授: 山本順寛(質問はこちらまで:junkan@bs.teu.ac.jp)

助教: 森内 寛. 修士課程14名, 4年生13名です。

研究経過や文献紹介を毎週のミーティングで発表します。厳しい質問で鍛えられますが、**雰囲気は和やか。飲み会も多いです。**

共同研究(東京大学医学部, 東海大学医学部, 防衛医科大学医学部, 横浜市立大学医学部, 順天堂大学医学部など)が盛んです。HPLCシステム10台以上など研究設備が充実しています。

卒業生の進路

4年生の大半は大学院に進学します。卒業生の就職先はファンケル, 協和発酵キリン, 日立製作所, 参天製薬, 三好化成, アストラゼネカ, ホソカワミクロン, ベーリンガー, 双日, ハックドラック, 三栄源FFI, 興和, ユーハイム, 井田産業などです。

Only One の研究を目指しています

生体内過酸化脂質の検出やCoQQ10結合タンパク質の発見は世界初です。**もっとも大切なことは個々が成長することです。**